資料4

第1回船橋市感染症対策連携会議における主な意見の要旨

令和5年9月29日 保健所 健康危機対策課

<全体ついて>

	主な意見	発言者の委員区分
1	● この振り返りは非常に重要で、様々な課題があがっておりこのような課題に対して 色々な具体的対応策を考えて、次のパンデミックに備えることは重要である。	・診療に関する学識経験者の団体等
2	 協力の得られない医療機関もあったが、多くの医療機関は自主的にコロナの検査・ 診察をしており、結果的にはオール船橋で対応できたのではないか。 新たな感染症発生時は医療ひっ迫時は総力戦で主体性をもって参画できる体制にしていく必要がある。 	・診療に関する学識経験者の団体等

<医療体制について>

	主な意見	発言者の委員区分
1	 新型コロナウイルス感染症対応における病院間の役割分担の明確化が課題であった。 新たな感染症発生時は病院同士が機能を分化して、例えば、感染症指定医療機関はコロナ病院となり、二次救急をほかの輪番に振るなど、ルールとして決めたほうがよい。 	・その他の関係機関
2	● 第3波では近隣の医療機関が軒並み満床で、遠距離搬送の増加が問題になった。 第5波では搬送困難事例も急増し、長時間コロナ陽性者のもとに救急隊員が居続け る事案が多くなり、救急隊員が疲弊した。 第7波では119番通報しても救急隊がすべて出動していることから消防隊が出動 するという事案が多発した。	・消防機関

<施設の状況について>

	主な意見	発言者の委員区分
1	● 老人保健施設からの入院を多く受け入れたが、コロナ治癒後に受け入れ先施設 を探すのに苦慮した。	・感染症指定医療機関
2	● 高齢者施設にはもともと医療従事者の配置が少ない。また、医療機関と老人保健施設では職員(介護職)の感染症対策の知識やスキルに差があるので、普段から訓練をしていかなければならない。	・その他の関係機関
3	● 施設内でクラスターが発生した際に、日ごとに代わるゾーニングの指示で職員が疲弊していった。	・その他の関係機関
4	● 新たな感染症発生時は、障害者施設において、コロナワクチンも医者を派遣してもらい、インフルエンザのように一斉に接種することができれば、利用者も安心して接種できるのではないか。	・その他の関係機関

< その他専門的な視点での意見>

	主な意見	発言者の委員区分
1	● 歯科診療室では感染リスクが高いとされ、標準的な感染予防策に加え接触感染予防 策や飛沫感染予防策を実施したが、時間とコストが非常にかかった。	・診療に関する学識経験者の団体等
2	● 病院や施設から感染者が出ると、外部からの立ち入りが禁止になり、継続した訪問 歯科診療による専門的口腔ケアを行うことができなかった。	・診療に関する学識経 験者の団体等
3	● 医療関係者のマスクや消毒薬がなくなってしまったことは問題であった。市民からマスクの販売について強い要請があり、薬局の職員から怖いという話を受けた。	・診療に関する学識経 験者の団体等
4	● オンライン診療による処方箋が届くのに随分時間がかかった。患者に薬を届ける時間が深夜に及ぶことがあった。	・診療に関する学識経 験者の団体等

<市民生活に関する意見>

	主な意見	発言者の委員区分
1	● 日常生活の行動制限や衛生上の色々な問題から、隣近所同士での何でも話し合える関係がかなり希薄化した。	・その他の関係機関
2	● 学校の子供たち、特に小学生の学校や家庭における生活は大変だった。● 教育委員会をはじめ、学校・関係者において今後の感染症に関して更なる検討・対応を期待したい。	・その他の関係機関